

中央業務委員会

「不正な二次架装」の根絶、定着に尽力 中小企業経営支援等にも取り組む

1. 組織

比企委員長以下、各部会（小型・資材以外）業務委員会の正副委員長と本部事務局の合計 18 名の委員で運営している委員会。また、以下に示す 3 分科会を設定し、分科会長を中心にして各課題を論議、進捗している。

中央業務委員会（18名）

| 分科会 | 役職 | 氏名 | 所属部会 | 会社名 |
|---------------|------|-------|------|--------------|
| 法制・税制 分科会 | 分科会長 | 田村 元 | トラック | 横浜名ワークス |
| | | 久垣 敏彦 | 特装 | 東急車輛製造(株) |
| | | 北村 守 | 特種 | (資)中北車体工作所 |
| | | 澤 正博 | トレーラ | 東急車輛製造(株) |
| 不正改造 根絶分科会 | 分科会長 | 山田 善雄 | トラック | 山田車体工業(株) |
| | | 木保 册 | トレーラ | 日本フルハーフ(株) |
| | | 加藤 寛 | トラック | 株相模ボデー |
| | | 三宅 勝一 | 特装 | カヤバ工業(株) |
| | | 伊藤 公一 | 特種 | 名自車体(株) |
| | | 木下 正之 | バン | 日本フルハーフ(株) |
| 会員拡大 分科会 | 分科会長 | 平井 康夫 | バス | 三菱ふそうバス製造(株) |
| | | 保志 隆平 | 特種 | ヤナセテック(株) |
| | | 安藤 潔 | バス | 西日本車体工業(株) |
| | | 澤田 光明 | 特装 | 新明和工業(株) |
| | | 多田野 純 | 〃 | 株タダノ |
| 事務局 | | 河野 正哉 | バン | 株トランテックス |
| | | 瓜谷 優一 | — | 車体工業会 |

2. 活動内容

一昨年来、「不正な二次架装の根絶」を車体工業会の最優先課題として中央業務委員会を中心に取組んできた。これまでの活動結果、販売店営業マンからの改造要請も昨年度下期調査ではゼロとなり、根絶できたと判断した。

このため、2008 年度から「不正な二次架装の根絶」

のアピールは続けるが、「中小企業経営支援等」を第一優先にして分科会活動を実施していく。各分科会の活動内容は以下のとおり。

(1) 法制・税制対応分科会

昨年度までは「規制緩和対応分科会」として活動してきたが、本年より、「厳しい経営環境が続いている中、中小企業経営に関する支援策等の検討と支援情報の展開の充実を行う」ことを狙いに以下の活動を実施する。

- ①中小企業庁等、官公庁情報のタイムリーな展開
- ②中小企業関係および自動車関係に関する法制・税制への要望活動参画
- ③原材料費の調査

(2) 不正改造根絶分科会

不正改造根絶活動を実施してきた結果、会員、ディーラーからは不正な二次架装の根絶が確認できた。確実なる定着のため継続して以下の活動を行う。

- ①会員企業へのコンプライアンス徹底
- ②非会員、ユーザーを含めた不正改造の根絶、定着のための活動継続

(3) 会員拡大分科会

当会が各種活動を進める上で、数、カバー率は大変重要である。このため以下項目の推進を図っていく。

- ①未入会会社への勧誘進捗
- ②非会員リストの充実
- ③各部会活動の魅力分析とまとめ

部会・委員会紹介 / 委員長インタビュー

中央業務委員会

比企 能信 委員長 に聞く

(日本フルハーフ(株)取締役社長)

「不正な二次架装要望」を根絶 さらなるアピール活動を継続

●「不正な二次架装の根絶」への対応状況等はいかがですか。

当会では「不正な二次架装の根絶」を最優先課題として掲げ、この 2 年間、本委員会で進捗を図ってきました。重点活動の結果 2006 年度には支部会員を含め「不正な二次架装を行っていない／関わらないこと」の確認が取れ、また、2007 年度には「販売会社からの不正な二次架装の要望がなくなったこと」の確認ができました。

しかしながら、まだ一部ユーザーから要望があること、また車体架装業界からの根絶を目指して継続した PR 活動を実施することは必要と考えています。このため次の活動を継続して行っていきます。

- (1) 車体業界全体とユーザーに「不正な二次架装の根絶」をアピール
- (2) 6月の「不正改造車を排除する運動」強化月間に参画
- (3) 会員企業へのコンプライアンス徹底の仕組み導入支援

●中央業務委員会の主要課題、取り組みについて教えてください。

先ほどの「不正な二次架装の根絶」への対応状況の中で述べましたが、販売会社からの要望が無くなったことが確認できたので、本年度からは、厳しい経営環境が続いている中小企業経営に関する支援策等の検討と支援情報展開の充実を最優先課題として行っていきます。

他に、広範囲にわたる会員拡大も重要と考えています。昨年度、売上高でのカバー率を検証しましたが、数においてもカバー率の向上は必要ですので、未入会会社への勧誘を積極的に実施していきたいと考えます。



●委員長個人としての会社の内容、特徴などの紹介をお願いいたします。

当社は、輸送用機器分野において一貫してお客様の満足を大切に、先進の技術で果敢に挑戦し続けています。

近年、輸送分野においては、安全輸送、環境対応、輸送品質、輸送効率など多くの課題がありますが、今後もさらに現場現物を中心にして事実を正しく捉え、これらの課題解決に取り組み、環境と社会に広く貢献する企業を目指してまいります。

また、毎年 5 月に本社（厚木）で「バラ観賞会」を開催しています。近隣の人から関東圏内はもちろん、甲信越、関西の方までご来場いただき、約 300 種類、800 本のバラを観賞していただき、地域との交流を積極的に行っています。



Profile

- ◆業務歴
 - 1968年 4月 日本軽金属(株) 入社
 - 1997年 6月 同社 取締役 就任
 - 2004年 6月 同社 専務執行役員 就任
 - 2005年 6月 日本フルハーフ(株) 代表取締役社長 就任
- ◇車工会歴
 - 2007年 4月 理事 就任
 - 副会長、中央業務委員会委員長
 - 支部連絡会委員長 就任

- ◆趣味・嗜好
 - ゴルフ、散歩

◆人物評
大きな身体からは、みなぎるパワーとチャレンジ精神が溢れています。常に従業員の達成感を大切に、感謝の気持ちを持って接しておられます。仕事に対しては思慮深く、厳しい一面もあり、知恵とチームワークを結集した成果が求められております。温和な性格から人脈も広く、休日には大好きなゴルフを楽しんでおられます。